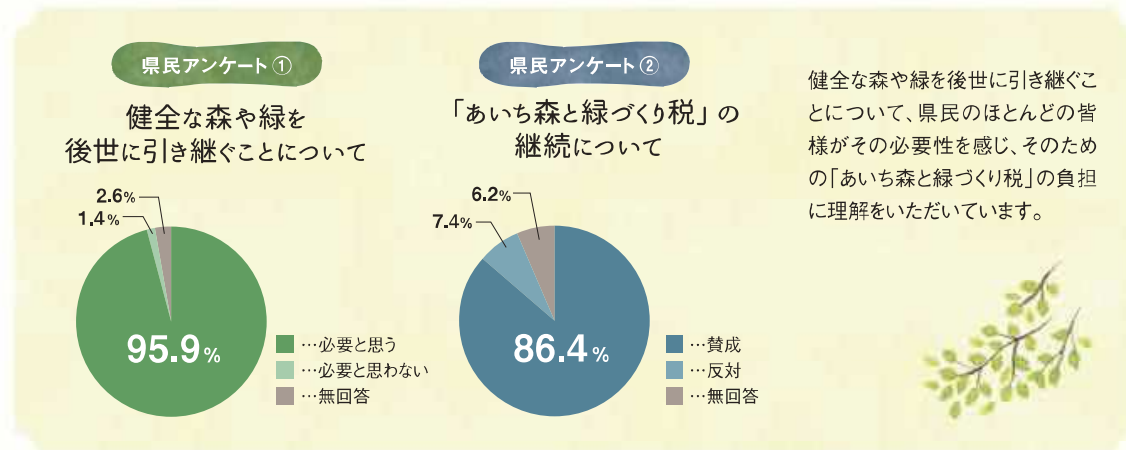


あいち森と緑づくり事業に対する 県民の皆様の声



市町村やあいち森と緑づくり委員会からの声

- 森林整備を進めていくうえであいち森と緑づくり事業はとても重要 (市町村)
- 公道沿いの間伐は山間地域のライフラインを確保するうえで大切 (委員会)
- あいち森と緑づくり事業で着実に都市緑化の質・量が向上している (市町村)
- 里山林の整備が進むことで、住民の里山林への意識が高まった (委員会)
- 自然の大切さや保全の必要性を広く発信できている (市町村)
- 環境活動・学習は未来への投資として必要 (委員会)

あいち森と緑づくり事業評価報告書(概要版) 平成30年5月策定

事務局 愛知県農林水産部農林基盤局森林保全課 森と緑づくり推進室(森林里山再生グループ)

〒460-8501 名古屋市中区三の丸3-1-2 メール mori-midori@pref.aichi.lg.jp
 電話 052-954-6455 URL http://www.pref.aichi.jp/shinrin/mori-midori/



あいち森と緑づくり事業で このような取組を行いました

森林整備 → P5・6

林道などから遠く離れた奥地や、作業がしにくい公道沿い・河川沿いにある人工林の間伐を行いました。

また、安全に間伐を行うため、作業にあたる作業員の養成を行いました。



里山林整備 → P7

市町村と地域住民・NPO等との協働による里山林の保全活用の支援や、放置された里山林の整備を実施しました。



普及啓発等 → P10

森林の整備につながる県産木材の利用を進めました。
また、あいち森と緑づくり事業をPRするため体感ツアー等を実施しました。



環境活動・学習推進 → P9

NPOやボランティア団体等による森と緑の保全活動や環境学習に多くの県民が参加し、参加者の森と緑の重要性に対する理解が深まりました。



都市緑化 → P8

都市部に残る貴重な緑地の保全、新たな緑地の創出、民有地緑化の助成、並木道の再生、県民参加による植栽体験や勉強会など、様々な取組を実施しました。



森林整備

スギ、ヒノキの間伐を行いました

1 中部国際空港 (セントレア) 28ヶ分の間伐を行いました

15,000haの間伐を行う計画に対し、平成29年度末の実績は13,216haで進捗率は88%[※]です。

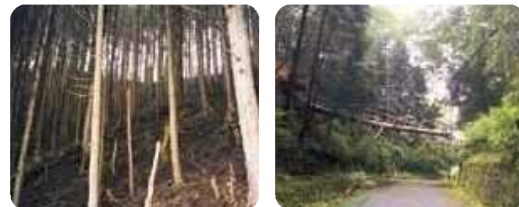


区分	事業計画	実績	進捗率
奥地	10,000ha	8,176ha	82%
公道・河川沿い	5,000ha	5,039ha	101%
計	15,000ha	13,216ha	88%

3 こんな課題も…

間伐の必要な森林は、まだ多く存在しています

道路沿いや集落周辺の危険木(枯損木、老齢木)への対策が必要です



間伐材の有効活用が必要です

高齢化した人工林の若返りが必要です

2 こんな成果が…

間伐を行った森林では、日光がさしこむようになり、地表が緑で覆われるようになりました。しっかり水を貯え、土の流出を防いでくれます。間伐を行った効果は205億円と試算できます。



公道沿いの事業地

水源涵養効果 **160**億円 + 土砂流出防止効果 **45**億円 = **205**億円

4 これからは…

林業活動で整備の困難な森林の間伐を推進します

山間地域のライフラインを確保するため、道路沿い等の人工林の間伐を推進します

間伐材の搬出を推進します

少花粉スギ等への植え替えを促進します

めざす未来! /

私たちの暮らしにさまざまな恩恵をもたらす緑豊かな森林が整備されます。



※あいち森と緑づくり事業は、平成21年度から10年計画で実施してきました。この報告書の実績は平成29年度末までの9年間の実績です。

森林整備

間伐のプロを育てました

1 227人のプロを養成!

作業条件の悪い森林でも安全に作業できる技術者を養成するため、研修を行いました。200人の計画に対して227人を養成しました。



研修の様子

区分	事業計画	実績	進捗率
養成者数	200人	227人	114%

3 こんな課題も…



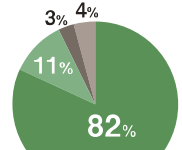
道路沿いの間伐では、通常の間伐に比べ高度な技術が必要です

電線や通信線を傷つけない作業が必要です



2 こんな成果が…

受講者の9割に当たる202人が、森林整備に活躍しています。また、8割が「研修が現場で役立っている」と回答しています。



【受講生】

- …役だっている
- …以前と変わらない
- …役だっていない
- …無回答



4 これからは…



高度な技術を持った森林整備技術者を養成します

めざす未来! /

技術者が増えることで森林整備が進みます。また雇用機会が増え、山村の活性化につながります。

